



2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月5日

上場会社名 神鋼鋼線工業株式会社
コード番号 5660 URL <https://www.shinko-wire.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河瀬 昌博
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 吉田 裕彦
四半期報告書提出予定日 2022年8月5日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 06-6411-1051

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	7,336	6.2	110	41.3	194	28.5	138	38.6
2022年3月期第1四半期	6,906	10.7	78		151		100	

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 156百万円 (74.6%) 2022年3月期第1四半期 614百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	23.47	
2022年3月期第1四半期	16.98	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	40,458	21,035	52.0
2022年3月期	41,578	21,085	50.7

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 21,035百万円 2022年3月期 21,085百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		35.00	35.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		0.00		30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,250	8.3	0	100.0	0	100.0	0	100.0	0.00
通期	32,000	8.7	700	6.5	700	20.0	500	16.6	84.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 社 (社名) 、 除外 1 社 (社名) 株式会社テザック神鋼ワイヤロープ

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	5,912,999 株	2022年3月期	5,912,999 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	2,027 株	2022年3月期	1,997 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	5,910,989 株	2022年3月期1Q	5,893,281 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来予測情報の適切な利用に関する説明)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルスの感染対策と経済活動の正常化の両立が進んだものの、国際情勢の悪化による資源価格の高騰や半導体をはじめとする各種資材の調達難、金融資本市場の変動等により、回復が足踏みしました。また、日本国内においては、急速な円安・ドル高の進行等もあり、景気回復のペースは鈍いものとなりました。

このような状況の中、当社グループでは、原材料価格やエネルギー価格等の高騰に対する販売価格の改定、高付加価値製品の販売拡大、徹底したコスト削減等に努めたことにより、当第1四半期連結累計期間における連結業績は、売上高は7,336百万円と前年同期に比べ430百万円の増収となり、営業利益、経常利益はそれぞれ110百万円（前年同期比32百万円の増益）、194百万円（前年同期比43百万円の増益）となりました。また親会社株主に帰属する四半期純利益は138百万円（前年同期比38百万円の増益）となりました。

当第1四半期連結累計期間のセグメント毎の経営成績は次のとおりです。

<特殊鋼線関連事業>

(P C関連製品) 主力分野の高速道路・橋梁等において、老朽化に伴う補修・補強案件の増加及びP C鋼材使用量の多い新設案件の減少の流れが継続する中で、前年度からの繰越案件があり、販売数量は前年同期に比べ増加しました。

(ばね・特殊線関連製品) 主力分野の自動車需要において、半導体不足及び上海ロックダウンの影響により、需要が減退し、販売数量は前年同期に比べ減少しました。

その結果、特殊鋼線関連事業全体の売上高は4,174百万円と前年同期に比べ203百万円の増収となった一方で、販売価格の改定に時間を要し、営業利益は9百万円（前年同期は154百万円の利益）となりました。

<鋼索関連事業>

新型コロナウイルスの影響等が依然として継続しており、国内外の需要の回復は鈍く、販売数量は前年同期に比べ減少しました。そのような中、販売価格の改定により、売上高は2,900百万円と前年同期に比べ331百万円の増収となり、営業利益は162百万円（前年同期は101百万円の損失）となりました。

<エンジニアリング関連事業>

土木・橋梁分野向けの案件納入時期の見直し、交通・環境分野及び建築分野向けの大型案件の減少により、売上高は246百万円と前年同期に比べ102百万円の減収となり、営業損失は73百万円（前年同期は12百万円の利益）となりました。

<その他>

不動産関連事業の売上高、営業利益はそれぞれ14百万円、11百万円と前年同期並みとなりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末との比較において、次のとおりとなりました。

総資産は、1,119百万円減少の40,458百万円となりました。これは主として売掛金の減少、現金及び預金の減少によるものです。

負債は、1,070百万円減少の19,423百万円となりました。これは主として長期借入金の減少によるものです。

純資産は、49百万円減少の21,035百万円となりました。これは主として利益剰余金の減少によるものです。また、自己資本比率は52.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の第2四半期累計期間および通期の業績予想につきましては、2022年5月11日に公表いたしました業績予想から変更しておりません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,847	2,419
受取手形	523	472
売掛金	4,513	3,852
電子記録債権	4,702	4,555
商品及び製品	4,172	4,221
仕掛品	3,230	3,545
原材料及び貯蔵品	1,810	1,813
その他	827	665
貸倒引当金	△0	△1
流動資産合計	22,626	21,543
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,852	2,807
機械装置及び運搬具（純額）	4,899	4,814
工具、器具及び備品（純額）	143	141
土地	5,869	5,869
リース資産（純額）	5	4
建設仮勘定	498	550
有形固定資産合計	14,269	14,188
無形固定資産	154	162
投資その他の資産		
投資有価証券	1,584	1,661
繰延税金資産	987	935
退職給付に係る資産	1,708	1,727
その他	273	265
貸倒引当金	△25	△25
投資その他の資産合計	4,528	4,563
固定資産合計	18,951	18,914
資産合計	41,578	40,458

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,180	2,835
短期借入金	4,806	5,597
リース債務	2	2
1年内償還予定の社債	150	975
未払費用	958	1,007
未払法人税等	312	38
契約負債	74	78
賞与引当金	619	247
設備関係支払手形	13	10
その他	633	710
流動負債合計	10,751	11,503
固定負債		
社債	900	—
長期借入金	4,367	3,389
リース債務	4	3
役員退職慰労引当金	10	1
環境対策引当金	45	37
退職給付に係る負債	4,289	4,362
その他	124	125
固定負債合計	9,742	7,919
負債合計	20,493	19,423
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,062	8,062
資本剰余金	8,164	8,164
利益剰余金	3,613	3,545
自己株式	△2	△2
株主資本合計	19,838	19,770
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	205	219
為替換算調整勘定	186	219
退職給付に係る調整累計額	855	825
その他の包括利益累計額合計	1,247	1,264
純資産合計	21,085	21,035
負債純資産合計	41,578	40,458

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	6,906	7,336
売上原価	5,779	6,074
売上総利益	1,126	1,262
販売費及び一般管理費	1,048	1,151
営業利益	78	110
営業外収益		
受取利息	12	14
受取配当金	36	33
持分法による投資利益	1	33
固定資産賃貸料	10	10
雇用調整助成金	59	—
還付固定資産税等	—	30
その他	4	16
営業外収益合計	125	138
営業外費用		
支払利息	11	13
出向者負担金	11	11
固定資産廃棄損	14	19
その他	13	10
営業外費用合計	51	54
経常利益	151	194
税金等調整前四半期純利益	151	194
法人税、住民税及び事業税	5	△3
法人税等調整額	45	59
法人税等合計	51	55
四半期純利益	100	138
親会社株主に帰属する四半期純利益	100	138

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	100	138
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△57	14
為替換算調整勘定	5	10
退職給付に係る調整額	562	△29
持分法適用会社に対する持分相当額	3	22
その他の包括利益合計	514	17
四半期包括利益	614	156
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	614	156

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	特殊鋼線 関連事業	鋼索関連 事業	エンジニ アリング 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,970	2,569	349	6,889	16	6,906	—	6,906
セグメント間の内部売上高 又は振替高	90	81	3	175	—	175	△175	—
計	4,061	2,650	353	7,065	16	7,081	△175	6,906
セグメント損益	154	△101	12	64	13	78	—	78

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産関連事業であります。

(注2) セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	特殊鋼線 関連事業	鋼索関連 事業	エンジニ アリング 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	4,174	2,900	246	7,321	14	7,336	—	7,336
セグメント間の内部売上高 又は振替高	106	71	0	178	—	178	△178	—
計	4,280	2,971	247	7,500	14	7,514	△178	7,336
セグメント損益	9	162	△73	98	11	110	—	110

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産関連事業であります。

(注2) セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。